

平成23年度 事業計画書

ケアハウス大慈

No.1

1. <23年度 法人ヴィジョン>

- ①経営の強化
- ②サービスの質の向上
- ③教育システムの充実

2. <ケア理念>

「手から手へ 忠恕（真心）を込めて」

3. <基本方針>

法人の設立精神である「和顔愛語・上敬下愛」に基づき、ゲストの人権を尊重し、ご自分らしく心豊かに生活を送っていただけることを目指し努力する。いつでも笑顔を絶やさず、思いやり・真心をこめて接することでゲストとの心のつながりを大切にする。ゲストが安全で健康的な暮らしができるようサポートする。

4. <ケア部門>

<長期計画>

平成23年度

●他フロア、多職種連携の強化

看取り、医療的ケア、リハビリの希望、介護予防、食事の嗜好への対応等、様々なニーズに対して一人の方をみんなで支えるということが、どのフロアにおいても同じように対応出来るようなシステム作りをする。

平成24年度

●事例検討

ただ日々の業務を行うだけでなく、その方を知り、基本に立ち返りまたそれを応用した介護のプロセスやそれによる結果を明らかにすることにより、職員が達成感を持ったり、刺激を受けたりすることで介護の仕事にやりがいを見出す。

平成25年度

●自ら気付く職員の育成

24年度の事例検討をすることで介護を業務ではなく個人の生活支援であることを理解し、日々の会話や関わりの中から個人の観察やニーズの洗い出しが出来る職員の育成を目指す。

<23年度重点目標>

①職員のレベルアップと看取りケアの充実

- A) ケア理念「手から手へ忠恕を込めて」の意味を振り返り、全職員がこの理念を常に忘れずにケアを行えるようにする。
- B) 職員の技術・知識の底上げを行うために外部研修の参加や勉強会の実施、また資格取得へのバックアップを行う。
→職員にアンケートを取り、ニーズを知る。
- C) ケアハウス大慈での看取りケアについて、職員全員が共通の認識を持って行う事が出来る様に、また経験が少ない職員も共に看取りケアに取り組むことができる様に会議や勉強会

を実施する。

D) 事故防止の為の危機管理を徹底する。

②マニュアルの完成と活用

A) 大慈園と連携し、共通のマニュアルを完成する。

B) ケアハウス大慈独自のマニュアルを完成させ、活用すると共に見直しを行う。また、業務の円滑化のためにさらに必要なマニュアルがあればその都度作成していく。

C) ライフプランの実施と余暇活動の充実。

D) ゲストの思いにそったライフプランの作成を行っていき、サービス担当者会議を実施する。

E) 介護予防対象ゲストの満足度を上げるため、セルフケアも踏まえた余暇活動を充実させる。

5. <<経営部門>>

<23年度重点目標>

①安定した経営状態の継続。

A) 充足率95%以上を維持する。

B) 現場の状況に配慮しつつ、適正な人件費率を把握・実践していくこと等で収支のバランスを保つ。

C) 総務部と共に経営分析を長期・中期的に行い健全な経営を維持する。

D) 他施設や他事業所と連携し、入居者・待機者の確保に努める。

E) 退居者が出た場合は、速やかに次の入居を進める。

②組織力を高める。

A) 各職種・部署の職員一人ひとりが組織の一員であり、プロ意識を持てるように指導をする。

B) 同じ目標に向かって、協力しあえる組織作りをする。

6. <<栄養科>>

<目標>

①おいしく安全で、笑顔になれる食事の提供

A) 『1日3度の感動を』この言葉に毎日の食事が少しでも近づける様に、創意工夫を行う。

B) フロア毎の行事や全体行事において、出来る限りのサポートを行い、時には主となって企画立案する。

C) チェリッシュ委員会を通して、職員と食事摂取量、形態等を再確認し、個々のゲストに合った食事の提供を行う。

②ライフプランの作成

A) フロア毎のケアカンファレンスに合わせて、栄養科として食事と体重管理を行い、ゲスト、ご家族、職員の誰が見ても今までの経過が分かるアセスメント表を作成していく。

③厨房の新体制の確立

A) 委託栄養士と協力して、厨房のタイムテーブルを作成し、業務の効率化を図る。

B) ゲストの声を厨房に伝え、より良い食事が提供できるよう話し合う事を継続する。

④レストランチェリッシュの機能充実

A) ゲスト、ご家族、地域の方の憩いの場として、現在のスタイルを保つ。

B) 季節に応じたディスプレイ、メニュー、雰囲気作りを充実させる。

C) 各階や全体の行事の場として使用し、普段とは違う雰囲気を楽しんで頂く。

7. <<看護部>>

①ゲストの健康状態を把握する事で、適切な看護サービスを提供する事ができる。

- A) 医師・フロアリーダー・ケアワーカー・理学療法士・栄養士などの他職種との連携をはかり、有効な情報交換を行う。
 B) カンファレンスの実施やご家族との連携を密にすることで、より深く個人を知り、その情報に基づく対応を重視した看護を行う。

②ゲストからの安心と信頼を得るとともに、心豊かに生活して頂けるよう看護師としての役割を果たすため、個々の資質の向上を図る。

- A) 施設外での研修会、勉強会などに積極的に参加する。
 B) 看護マニュアルを完成させ、基本看護を実践する。

<年間業務>

月	項目	内容
5月	ゲスト定期検診	胸部X線・採血
6月・7月	スタッフ定期検診（全職員）	胸部X線・採血・検尿・検便・心電図 腰椎X線（CWのみ）
11月・12月	ゲスト・全スタッフ	インフルエンザ予防接種
1月	職員定期検診（CWのみ）	採血・腰椎X線

<往診・受診>

曜日	午前・午後	医師名	診療科目	頻度
月	午前	坪内淳一	内科	毎週
	午後	平山尚哉	歯科	毎週
火	午後	松尾信二	精神科	毎週
水	午前	真継 猛	整形外科	毎週
	午後	松浦 肇	皮膚科	隔週
木	午前	坪内淳一	内科	毎週
金	午後	森 啓行	糖尿内科	毎週

8. <<機能回復訓練>>

ケアハウス大慈の理念に則して、ゲストの全人的苦痛を可能な限り取り除き、QOLを高める為一人ひとりが求めている生活への思いを実現できるようサポートしていく。また、他職員との連携をより深め、情報の共有・事故防止などチームでのケアを進めていく。

<実践目標>

- ①身体的疼痛の除去（＃1、4）
- ②ゲストのADLの維持・向上（＃1～3、5）
- ③介護予防の実践（＃1～3、5）
- ④事故防止に向けてのリスク管理（＃5、6）
- ⑤ケアプラン・目標の共有（＃7）

<実践内容>

- ＃1 個々の状態に合わせた評価・計画立案・機能訓練・目標設定・モニタリングの実施。
- ＃2 ADL評価ツール（FIM・バーセルインデックス）を用いての定期的な客観的ADL評価の実施。
- ＃3 評価ツール（疼痛評価スケール、MMT等）を用いての身体機能評価の実施。

- # 4 物理療法の実施
- # 5 福祉用具および居住環境の調整
- # 6 他職種への情報提供および介助方法の指導
- # 7 ケアカンファレンス、F S会議等への出席

9. 《ケアハウス大慈の特徴》

①入浴

一般浴（大浴場・個浴）・特浴・中間浴をゲストの状態やお好みによって、選んで頂ける様にする。入浴回数や時間についても、出来る限りご希望に添えるようにする。（週2回以上）

②排泄

出来るだけトイレを使ってご自分で出来るようにサポートする。ゲストの個々の状態に合わせたサービスを行う。

③食事

ダイニングで食べて頂く事を基本とし、個々の状態に応じて治療食、ソフト食やスルー食等を提供する。ご自分のお箸やお茶碗、お湯呑みを使って頂くことやフロアのキッチンでご飯を炊くことで家庭に近い雰囲気を感じて頂ける様にしている。

温かいものは温かく、冷たいものは冷たく食べて頂くためにおかずの盛り付けもフロアのキッチンで行っている。陶器の食器を使用し、味だけではなく見た目も大切にしている。

④生きがい作り

お誕生日のお祝いには、プレゼントをしたり、職員と外出する機会を持つ等、個別の希望に合わせて行っている。

畑の野菜等を収穫し、レストランにてバイキング形式で食事を提供する。

にぎり寿司パーティーや焼き肉パーティーを年に1回ずつ行う。

気候の良い時期には、花鳥園や水族園等に外出する。

ミュージックセラピー・フラワーセラピー・メイクセラピー等を実施する。

夏祭りにご家族も招待し、一緒に楽しんでいただく。

⑤その他

レストランや美容室等の設備が充実している。

生きがいデイサービスの場として等、地域の方にレストランを提供している。

職員配置をゲスト2名に対して職員1名とし、ユニットケアを行っている。

10. 《職員会議》

頻度	会議名			
毎月1回	正副施設長会議	大慈な会議	F S会議	会計会議
随時	ケアカンファレンス	医務部会	事務部会	

11. 《衛生》

害虫駆除（年2回）・寝具交換（週1回）

12. 《苦情処理》

各部署に担当者を明記し、随時受け付け口頭・書面で上司に報告し敏速で確実な対応を行う。

1 3. 《委員会活動》

	内 容
委員会名	チェリッシュ委員会
頻度・時間等	毎月第三水曜日 16時15分～17時45分
目的・内容	ケアハウス大慈の食事をより良いものにすることを目的とし、料理教室やスナック等の行事を企画する。

	内 容
委員会名	行事委員会
頻度・時間等	偶数月第二水曜日 16時15分～17時45分
目的・内容	行事を企画、実行していく。大慈園行事委員会にも必要に応じて参加し、連携を図る。

	内 容
委員会名	災害・設備委員会
頻度・時間等	毎月第三水曜日 16時15分～17時45分
目的・内容	非常災害時に対する防災意識の向上や警戒発令時の迅速な対応等、総合的な推進を図り、被害を軽減する。また委員が、大慈園の非常災害時対策委員会にも参加し災害に対して連携を図れるようにする。 施設設備の保守に関する問題点や改善案を話し合い、実施する。 A) 避難訓練消火訓練の実施（月1回） B) 消火器、自動火災通報装置の使用方法等、防災教育の実施

	内 容
委員会名	感染症防止対策委員会
頻度・時間等	毎月第一月曜日 16時15分～17時45分
目的・内容	感染症・食中毒の予防まん延防止に関する指針に基づき、マニュアルの作成や見直し・標準予防策・職員研修等を検討・実施する。

	内 容
委員会名	RM委員会
頻度・時間等	毎月最終水曜日 16時15分～17時45分
目的・内容	事故報告書の検討・ドキドキ報告書の検討・マニュアル作成をしていく。

	内 容
委員会名	マナーアップ委員会
頻度・時間等	毎月第四木曜日 16時15分～17時45分
目的・内容	職員のマナーアップ向上を目的としており、その為実践する方法を提案する。

内 容	
委員会名	エコ・節約委員会
頻度・時間等	不定期
目的・内容	節電・節水を実施し、エコロジーな施設を目指すと共に無駄を無くし、節約に取り組む。

内 容	
委員会名	入浴委員会
頻度・時間等	奇数月第一金曜日 16:15～17:45
目的・内容	入浴のスケジュールや清掃、介助等の入浴に関する全ての事を話し合い、より良い入浴を目指す。

内 容	
委員会名	排泄委員会
頻度・時間等	不定期
目的・内容	排泄について話し合いゲストが心地よく過ごせるための改善方法を提案・実施していく。

*人事委員会・研修委員会については、大慈園と同じ。

1 4. 《月行事》

行事	頻度	行事	頻度
音楽療法	毎月2回	衣料販売	毎月1回
メイクセラピー	毎月1回	絵手紙	毎月1回
シルバー体操	毎週水曜日	フラワーセラピー	毎月1回
買い物ツアー	毎週木曜日	歌とお話の会	毎月1回

1 5. 《年間行事》

月	行事	月	行事
4月	お花見	10月	遠足
5月	外食ツアー	11月	外食ツアー
6月	外出行事	12月	クリスマス会、餅つき
7月	七夕	1月	新年会、鏡開き
8月	夏祭り	2月	節分、バレンタインデー
9月	敬老の日	3月	雛祭り・にぎり寿司

1 6. 《職員配置》

施設長	副施設長	生活相談員	介護支援専門員	看護職員（非常勤含）
1名	1名	2名	4名	5名
管理栄養士	事務員	介護職員（正職）	介護職員（パート）	機能回復訓練士
2名	2名	42名	31名	1名